頂いたご意見①

全体会への参加申し込み時に、
応募者の皆さんから頂いたご意見一覧です。

☑ 133号線に伴う周辺の再開発で、暗がりの道が減ったり、阿佐ヶ谷周辺らしいお店やご高齢の方々の商いの継承が伴う暮らしになるといいなと考えています。

☑ 133号線の拡幅計画について、従来の住環境にかなりの影響を与えるだろうと考えている。個人的にはまだ賛成でも反対でもないが、緑が減るのは悲しい。けれども、今回の会議に参加して、よく勉強し、計画などについて色々と知っていきたい。

☑ 開通の予定は！？

☑ 青梅街道の事実上のバイパスになっている、青梅街道の南側に平行して通っている道路（天桂寺、海雲寺の前を通る道）の交通量は減るのか？杉並ナンバー以外の大型車が通ることが多く危険性を感じています。

☑ 現状、どのような状況が知りたい。また、今後、どのように進む予定なのかも、確認したい。

☑ 道路の拡張を行う過程で発生する沿道の建物や空地の利用方法、変化の途中に何が出来るか、何を積極的に促して街を生きた形で次世代にバトンタッチ出来るかに興味があります。

☑ 南北の移動がしにくい地域でもあり、補助133号線の開通によって、火災や災害などの際の移動経路の確保はもとより、他の生活道路の交通量の減少によって、地域の安全向上も見込める。

☑ 緑豊かで閑静な住宅街が破壊されます。100軒以上の住宅が立ち退きになります。地域医である診療所が失われます。道幅が広い道路が通ることで高齢者が渡りづらくなります。地域のコミュニティーが失われます。道祖神も壊されてしまいます。善福寺川緑地帯の一部の緑が失われます。交通量が増えCO2量が増加、環境が汚染されます。防災面では大きな道路を通すことに頼るのではなく、地域コミュニティーの協力も大切です。地域コミュニティーが分断されてしまえば地域の防災力は確実に弱まります。

☑ 緑と賑わいを創り住民のウェルビーイングを考えながらの路線整備にして頂きたいです。

頂いたご意見②

全体会への参加申し込み時に、
応募者の皆さんから頂いたご意見一覧です。

☑ 大きな懸念は、開発による交通量の増加、それに伴う事故の増加、色々なトラブルの増加などがあります。やはり、人中心、歩行者の保護、安心、安全に歩ける緑豊かな道路開発を望みます。一つの例は、仙台の青葉通りなどがあります。左右歩道をより広くすると安全な道が出来ると思います。

☑ １３３号線整備の是非を問うだけではなく、地元住民にとって、全体のメリット、デメリットをきちんと評価する場にして欲しい。特に、通過者のメリットだけではなく、地元住民のメリットを明言して欲しい。１３３号線の整備によって住み慣れてた住まいを失う人（＝自治体の政策に協力する人）に対してどれだけ感謝と誠意をもって対応するのかを明らかにして欲しい。

☑ 133号線の計画は凍結したのか。進めるなら進める、やめるならやめるではっきりしてほしい

☑ １）大変難しい課題と存じますが、通す通さない、立ち退く立ち退かないだけを議論するのではなくどうしたらこれまでより良くなるかを議論したほうが良いと思います。
２）沿道の環境が騒音等で悪くなるのは明白で、30キロ制限、カーブを多くするなど必要と思います。
３）通過交通が増え、鎌倉街道の五日市街道以南の交通量が増えます。狭い道に小学校まであるのに危険です。
４）緑が最も多い街区がつぶれる計画になっています。環境激変です。
５）大型店舗が沿道にできると街の雰囲気、阿佐ヶ谷らしさが失われます。
これらを考えると、緑を残す線形、小さな店舗に誘導する都市計画規制、騒音抑制のための交通規制などが必要です。雰囲気のよい街は車の運転も穏やかになると思います。

☑ 井の頭通りの環七より内側の拡幅は、道路整備しつつ、小さな店も立地し雰囲気が保たれる事例だと思います。できないことはないと思いますので、皆さんで考えていきましょう。拙速は禁物です。